

## 生活と共にある竹細工

竹はその機能性、軽さ、耐久性、そして幅広い用途に使える可能性のために、日本では伝統的にさまざまな日用品の製造に使われてきました。

竹細工は、「青物」、「白物」、「黒物」の3種類に分類されます。青物は、まだ青い未加工の竹で作られた農具、釣り道具、台所用品などですが、この竹の色は時間が経つにつれて飴色に変化していきます。そして白物には台所用品、室内の装飾品、花かご、バッグなど、油抜きして乾燥させ、日光の下で白く晒した竹で作られます。最後の黒物は、漆塗りや染色などでさらに加工をされたものです。この黒物のカテゴリには、茶道具、花かご、より精巧に竹を織って作ったバッグなどの高級品が含まれます。

これらの製品の他にも、竹は作業用および装飾品としてのかご、食器、漉し器や脱穀に使う道具、野菜を洗う道具、洗濯物入れなどの家庭用品、生け花を入れる器、子供用のおもちゃ、灯籠、楽器、芸術作品、武道の訓練に使う竹刀、加えて矢などの実際の武器などに使われています。また竹は伝統的に、建築や造園の材料としても使用されてきました。

このように多彩な用途は、日本の人たちの日常生活において竹がいかに昔から重要な資材であったかを示す証なのです。